

株式会社スマートバリュー  
2017年6月期 第2四半期  
決算説明資料



**Smartvalue Co.,Ltd.**

Naniwasujihonmachi MID Bldg.4F  
2-3-2, Utsubohonmachi, Nishi-ku  
Osaka 550-0004 JAPAN  
+81-6-6448-1711 +81-6-6448-1722

GoogolPlex MillenniumBldg.4F  
4-4-20, Shiba, Minato-ku  
Tokyo 108-0014 JAPAN  
+81-3-5418-6892 +81-3-5418-6894

<http://www.smartvalue.ad.jp/>

株式会社スマートバリュー  
(証券コード：9417)

2017/2/15

# 目次

1. 事業の基本方針と構成
2. 2017年6月期 第2四半期 累計決算概要
3. 2017年6月期 第2四半期 事業トピックス
4. 2017年6月期 通期業績予想
5. 中長期戦略
6. 補足資料

# 1. 事業の基本方針と構成

## 1-1. 基本方針

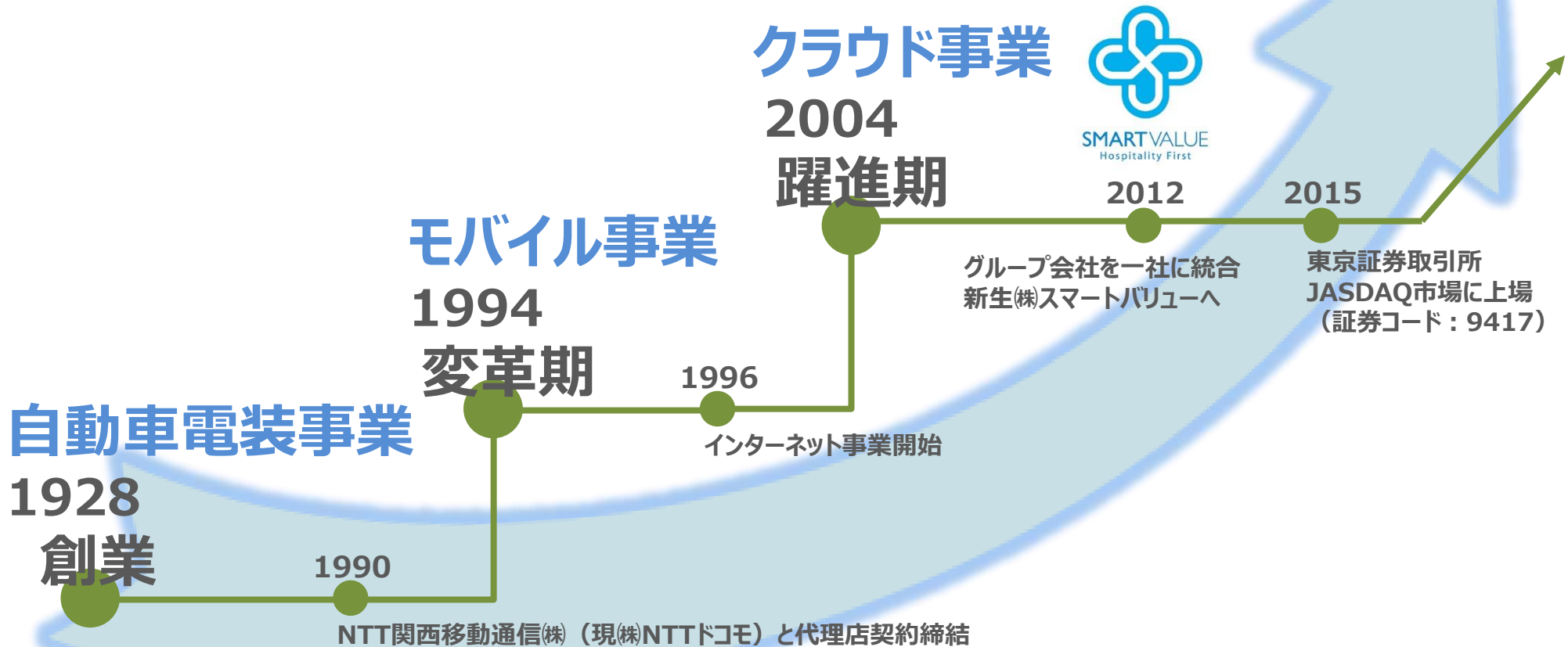
**創業89年  
業態転換を図って23年！  
クラウドサービスを軸に、  
IoT・ブロックチェーンなどテクノロジーの力で**

**“スマート&テクノロジーで  
歴史に残る社会システムを創る！”**

**を、ミッションとして掲げています！**

# 1-2. 沿革

## モバイルとクラウド事業が現在の領域



# 1-3. 事業の構成と概要

## クラウドソリューションセグメント

### 地域情報クラウド



自治体のオープンガバメントを推進する  
情報発信を支援するクラウドサービス

### モビリティサービス



コネクティッドカー（テレマティクス）  
およびモビリティIoTプラットフォーム

### クラウドプラットフォーム



仮想化技術を活用したクラウド基盤サービス  
都市型データセンターサービス

## モバイル セグメント

### モバイル



NTTドコモの  
代理店として、  
モバイルショップ  
の運営

生徒児童への  
ネットいじめ防止  
授業

## 2. 2017年6月期 第2四半期 累計決算概要

## 2-1. 2017年6月期第2四半期 業績サマリー

予算に対してはほぼ予想通りの進捗となるが、対前年比では減収減益となる。

- 対予算比では、**減収増益**

- ・クラウドソリューション：**増収増益**

- (利益率の低下あるが、販売管理費削減効果もあり)

- ・モバイル：**減収増益**

- (販売台数の減少)

- 対前年比では、**減収減益**

- ・クラウドソリューション：**増収減益**

- (成長分野への投資含め、ソフトウェア資産減価償却および販売管理費の増大)

- ・モバイル：**減収減益**

- (販売台数の減少)



## 2-2. 2017年6月期第2四半期 損益計算書

(百万円)

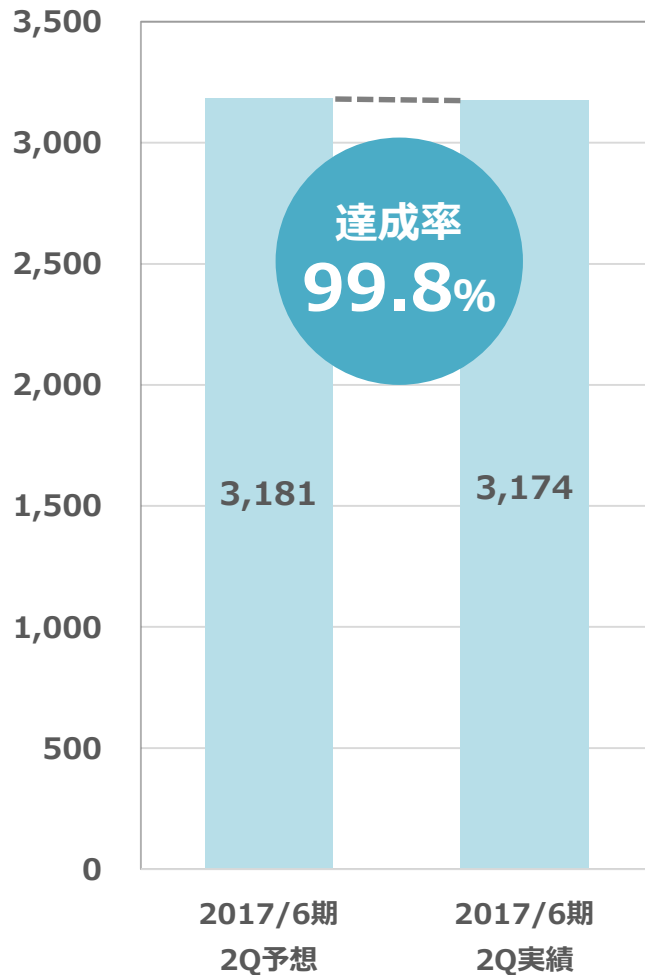
	第1四半期実績	第2四半期実績	2017年6月期 第2四半期 累計実績	第2四半期予想	予算 達成率	2016年6月期 第2四半期 実績	対前年 同期比
<b>売上高</b>	<b>1,490</b>	<b>1,683</b>	<b>3,174</b>	<b>3,181</b>	<b>99.8%</b>	<b>3,316</b>	<b>95.7%</b>
クラウドソリューションセグメント	524	648	1,173	1,151	102.0%	1,130	103.8%
モバイルセグメント	965	1,035	2,000	2,030	98.5%	2,185	91.5%
<b>営業利益</b>	<b>△ 26</b>	<b>59</b>	<b>32</b>	<b>9</b>	<b>346.3%</b>	<b>104</b>	<b>31.7%</b>
クラウドソリューションセグメント	4	78	83	76	108.7%	90	92.3%
モバイルセグメント	64	72	137	121	112.3%	181	75.5%
<b>営業利益率</b>	<b>-1.8%</b>	<b>3.5%</b>	<b>1.0%</b>	<b>0.3%</b>	<b>347.1%</b>	<b>3.1%</b>	<b>33.1%</b>
クラウドソリューションセグメント	0.9%	12.0%	7.1%	6.6%	106.6%	8.0%	88.9%
モバイルセグメント	6.6%	7.0%	6.9%	6.0%	114.0%	8.3%	82.5%
<b>経常利益</b>	<b>△ 25</b>	<b>59</b>	<b>33</b>	<b>8</b>	<b>409.8%</b>	<b>121</b>	<b>27.6%</b>
<b>当期純利益</b>	<b>△ 18</b>	<b>39</b>	<b>21</b>	<b>4</b>	<b>431.3%</b>	<b>75</b>	<b>28.3%</b>

※各セグメント利益からセグメントに属さない一般管理費（調整額）を差し引いた額を営業利益としています。

## 2-3. 2017年6月期第2四半期 対予算比

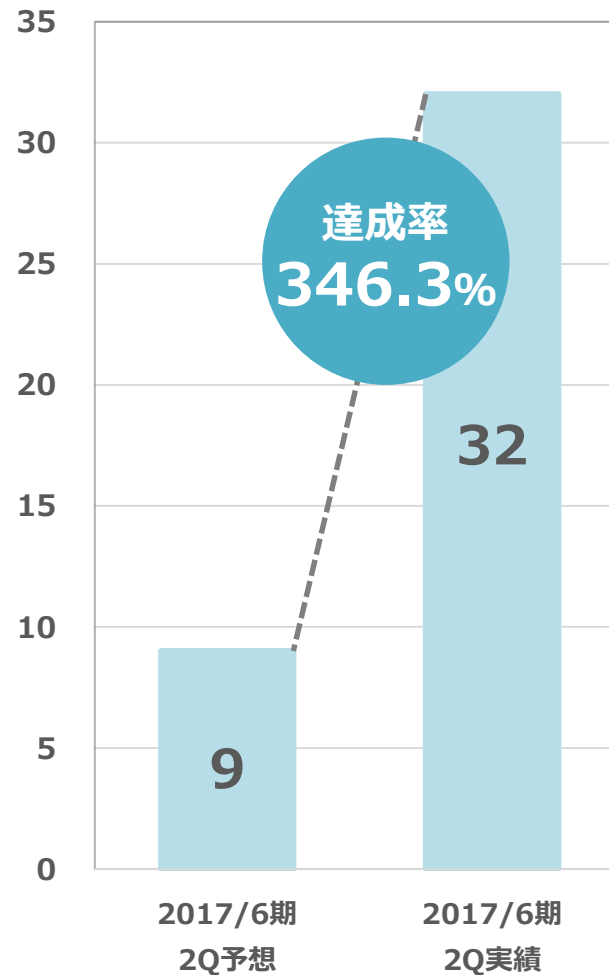
(百万円)

### 全社売上高



(百万円)

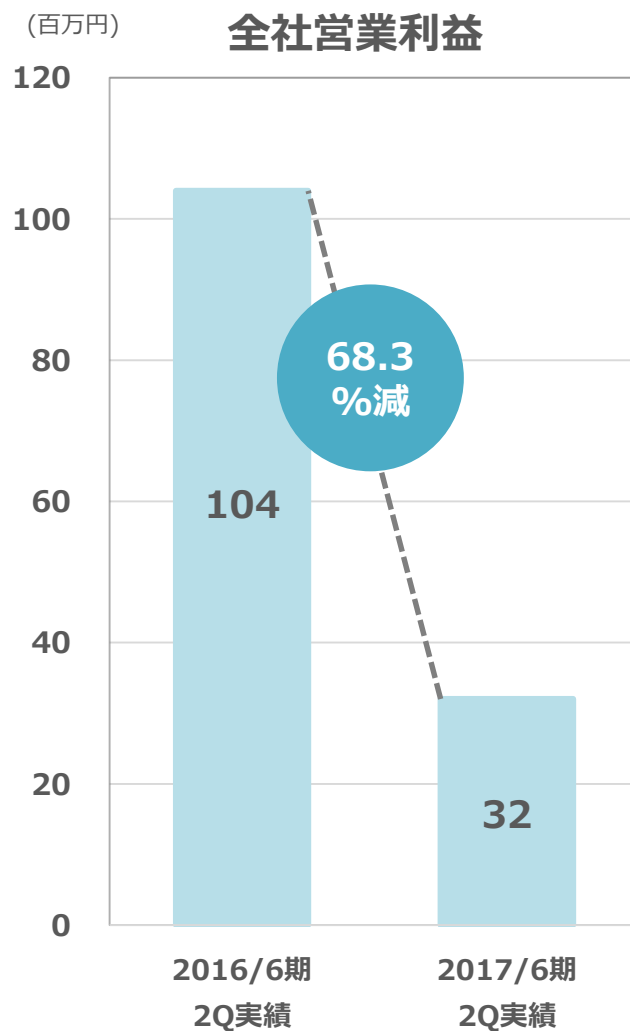
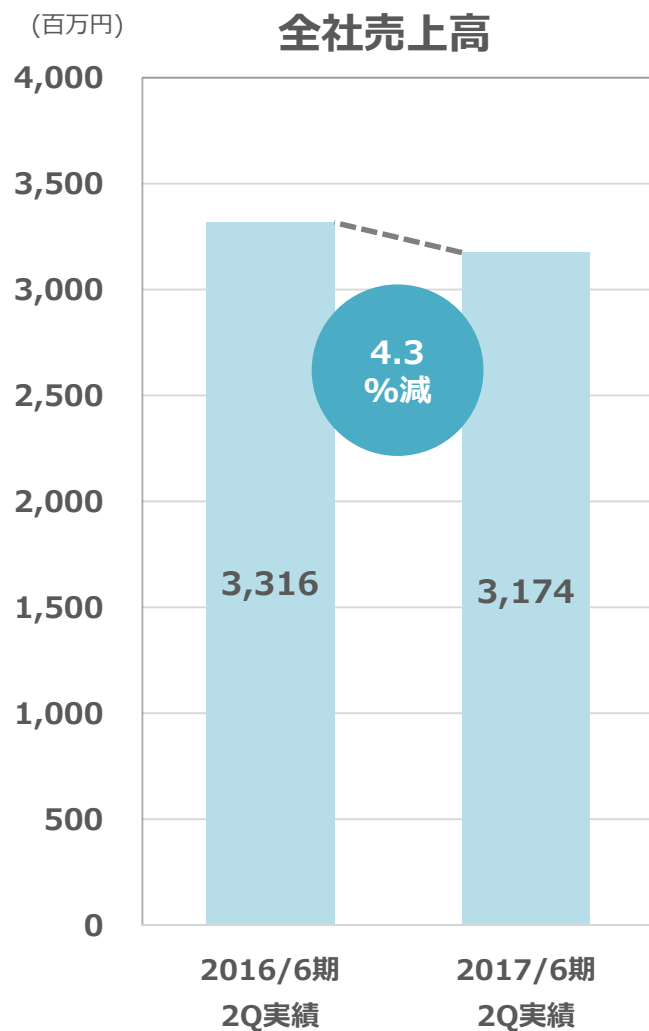
### 全社営業利益



### 【対予算 主要因】

- クラウドソリューション事業においては、地域情報クラウドの競争激化による獲得減、利益率低下はあるが、ストックの着実な積み上げ、モビリティIoTの収益寄与、管理費減少などもあり、増収増益
- モバイル事業における販売台数減少による減収はあるが、値引き販売や販促費の減少、人件費の削減により増益
- 管理部門は採用費増額はあれど、全体的な効率化によるコスト削減の実施により、予算比では費用削減

## 2-4. 2017年6月期第2四半期 対前年同期比



### 【対前年 主要要因】

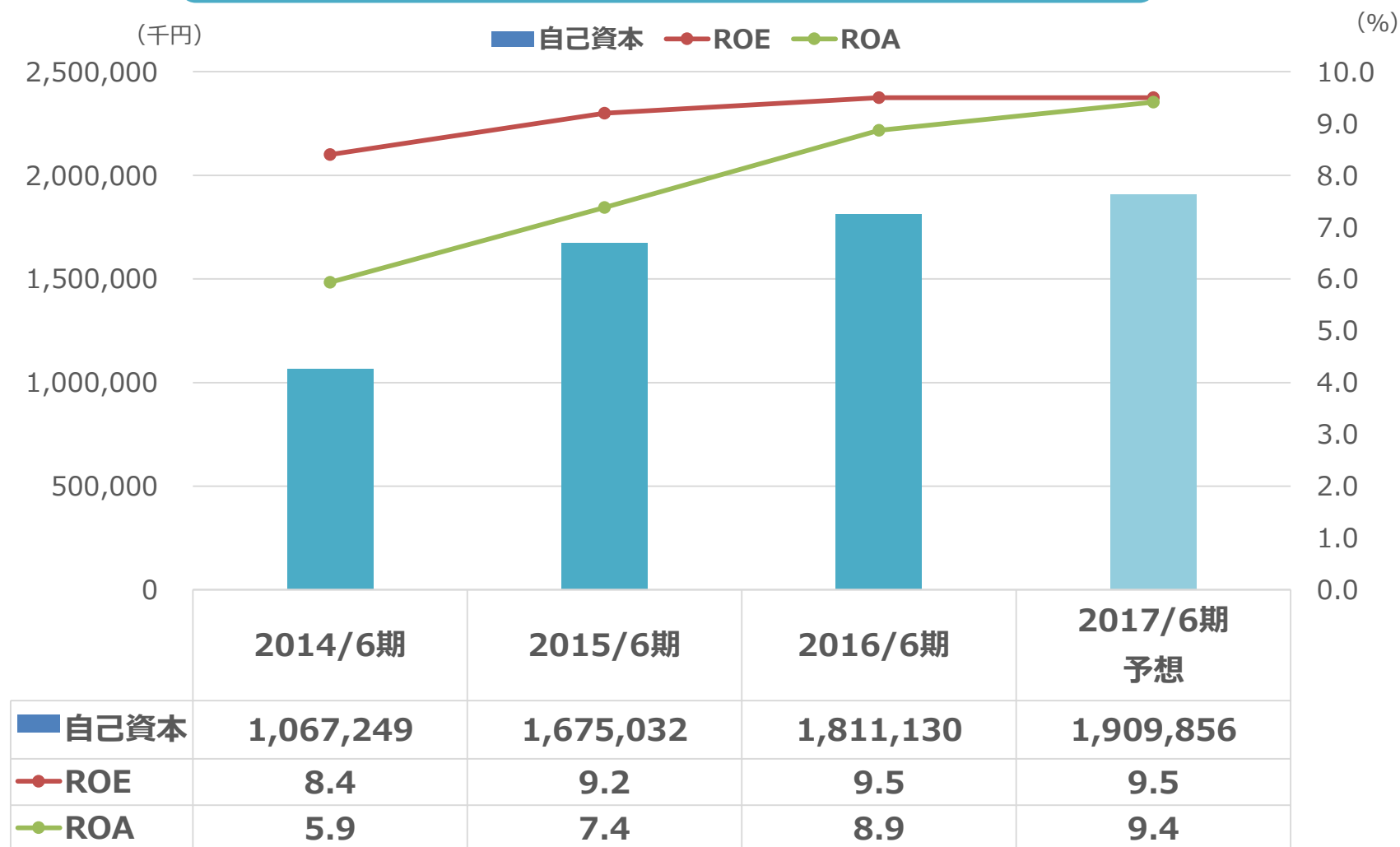
●クラウドソリューション事業においては、成長分野への投資による費用増加や、減価償却費増などもあり、増収減益。

●モバイル事業においては、販売台数減少、アクセサリーの利益率低下などもあり、減収減益。

●管理部門は、人材採用コスト増やガバナンス費用の増額などにより費用増加

# 2-5. 2017年6月期第2四半期 財務ハイライト

## 自己資本及びROE/ROAの推移



## 2-6. 2017年6月期第2四半期 貸借対照表

(百万円)

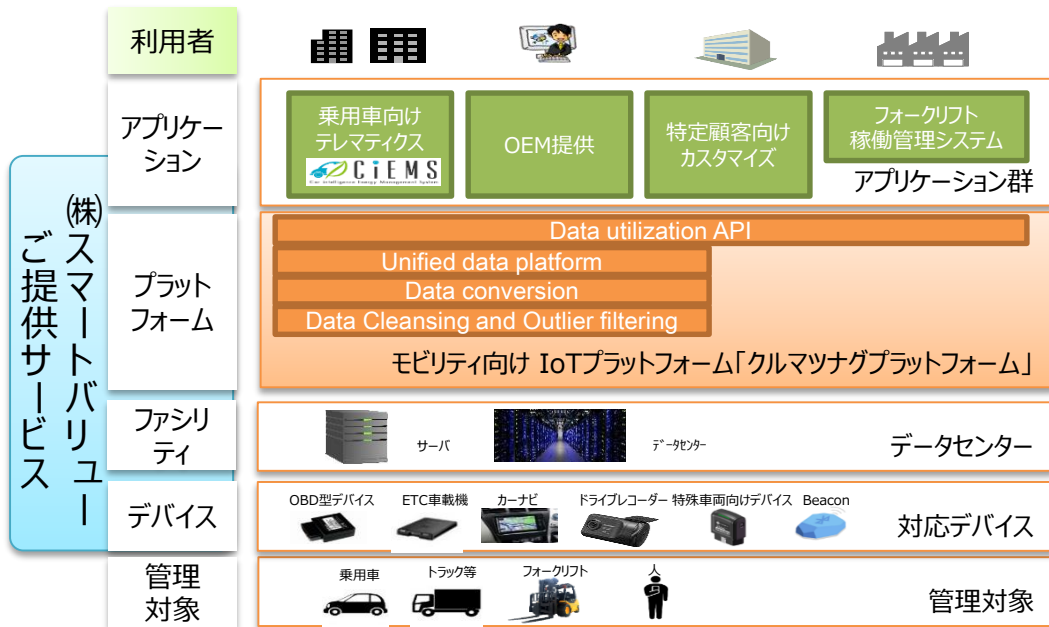
		2017年6月期 第1四半期実績		2017年6月期 第2四半期実績			増減要因
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	
資産	流動資産	1,631	54.0%	1,654	53.9%	23	受取手形及び売掛金、商品の増加、現金及び預金の減少
	固定資産	1,392	46.1%	1,412	46.1%	20	ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の増加
	資産合計	3,023	100%	3,066	100%	43	
負債・純資産	流動負債	843	27.9%	867	28.3%	24	買掛金の増加
	固定負債	414	13.7%	393	12.9%	△21	長期借入金の減少
	負債合計	1,258	41.6%	1,261	41.1%	3	
	純資産合計	1,765	58.4%	1,805	58.9%	40	利益剰余金の増加
	負債純資産合計	3,023	100%	3,066	100%	43	
自己資本比率		58.4%		58.8%			

### 3. 2017年6月期 第2四半期 事業トピックス

# 3. 事業トピックス

(2016年8月29日)

## 当社モビリティ向けM2M/IoTサービス「CiEMS 3G」が NTTコミュニケーションズのサービス「Vehicle Manager」として採用 手軽で低コストな営業車両の運行管理を実現



NTTコミュニケーションズのIoT Platform「Vehicle Manager」との協業の仕組み

### News Release NTT Communications

2016年8月29日

**営業車両の運行管理を手軽に、セキュアに実現する IoT Platform サービス「Vehicle Manager」の提供を開始**

～運行日報の効率化や交通事故の削減をIoTでサポート～

NTTコミュニケーションズ(略称:NTT Com)は、企業のお客さま向けの車両運行管理のIoT Platform サービスのラインアップとして「Vehicle Manager」を、2016年8月29日に提供を開始します。

**1. 背景**

昨今、営業車両を保有する企業において、安全運転に対する意識と運行管理の重要性の高まりを受け、NTT Comは2016年4月より営業車両の運行管理を車載器を設置することで行えるIoTトライアルパック「Connected Vehicle」を提供してきました。トライアル提供を行う中で、「全社をおいて事故防止施策を行いたい」、「車両台数を適正化してコスト削減につなげたい」、「ドライバーがどこにいるかを把握したい」といったテレマティクス<sup>1</sup>サービスのニーズが高いことから、商用サービスを提供開始します。

**2. 概要**

本サービスは、通信機能やGPS機能を内蔵した小型車載器を営業車両に設置することで、車両ごとの運行日報や運転傾向分析、車両稼働実績などをアプリケーション上で閲覧・管理することができます。これらの機能により、車両運行状況の管理や安全運転の確保が容易となるほか、交通事故削減による事故処理費用や自動車保険料などの関連コスト削減、エコドライブによる燃料費削減にもつながります(図1参照)。本サービスはスマートバリュー社との協業により実現するものです。

図1: Vehicle Managerの仕組み

NTTコミュニケーションズ株式会社 広報室  
NTT Communications Corporation Public Relations Office  
〒150-8501 東京都千代田区千代田1-1-6  
1-1-6 Uchisaiwai-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8501, Japan  
Tel (03)5700-4010 International +81 3 6700 4010

## 株式会社Pyreneeと業務提携 新たなモビリティ向け IoT サービスの開発で 商品展開力の強化を狙う

※ ADAS 機能の搭載により効果的な交通事故削減を実現

### Pyrenee Drive



※ADAS機能

事故などの危険を事前に検知し、回避する先進運転支援システム。車載機、レーダーなど各種センサーから入力される大量の情報を、リアルタイムかつ正確に処理を行う処理性能の向上に伴い、障害物の検知、ドライバー状態の認識、危険予測や危険回避判断といった新しい機能を実現できるとされている機能です。

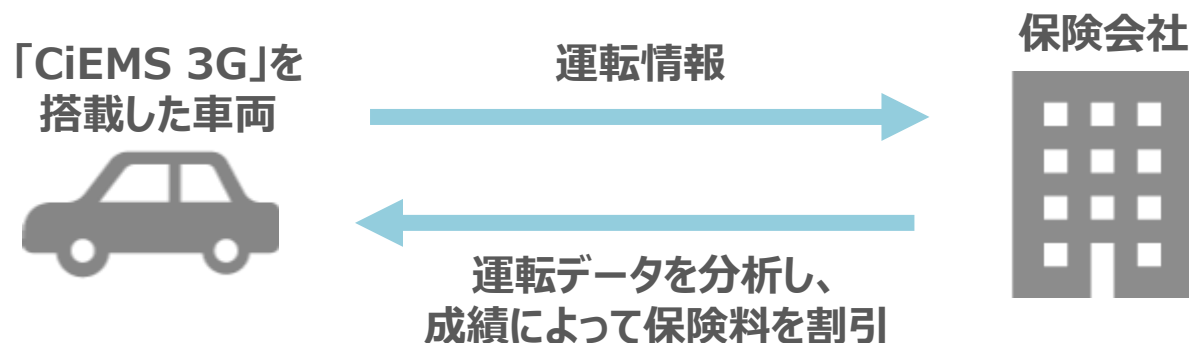


## 約10年にわたる実績とノウハウを活かした 「クルマツナグプラットフォーム」提供開始 集積する運転動態データをリアルタイム配信



## 当社M2M/IoTサービス「CiEMS 3G」が テレマティクスなどの利用による保険料割引対象サービスに採用

※「テレマティクス保険」などを見据えた新たな事業モデルの創造



※：テレマティクス保険

自動車などに通信システムを組み込み、リアルタイムな情報サービスを実現する技術を保険に応用し、自動車の走行距離や運転速度、急発進・急ブレーキなどの運転情報を保険会社が取得。個々の事故リスクを分析して保険料を算定する、新しい保険の定義です。

## ブロックチェーン技術開発の シビラ株式会社への出資および資本業務提携

「ブロックチェーンツナグプラットフォーム」を共同開発中



### 【会社概要】



シビラ株式会社

本社 : 大阪府大阪市西区  
代表取締役社長 : 藤井 隆嗣

事業内容 : ブロックチェーンの研究開発およびソリューションの提供  
高度な数学的理論に裏付けられる情報セキュリティ技術の研究・開発

### 3. 事業トピックス

月	主な公開サービス（CMS/APPS）
7月	東京都国立市 にて同市の <b>公式ホームページ</b> をリニューアル公開
9月	福岡県太宰府市 にて同市の <b>公式ホームページ</b> をリニューアル公開 湖南広域行政組合 にて <b>公式ホームページ</b> をリニューアル公開
10月	岐阜県大垣市 にて 子育てアプリ「 <b>大垣市子育て支援アプリ</b> 」を公開 愛知県名古屋市 にて 子育てアプリ「 <b>なごや子育てアプリ なごみー</b> 」を公開 長野県高森町 にて <b>公式ホームページ</b> をリニューアル公開
12月	広島県東広島市 にて同市の <b>公式ホームページ</b> をリニューアル公開 鹿児島県西之表市 にて同市の <b>公式ホームページ</b> をリニューアル公開 大阪府茨木市 にて同市の <b>公式ホームページ</b> をリニューアル公開 茨城県茨城町 にて同町の <b>シティプロモーションサイト</b> を公開

# 3. 事業トピックス

## 2017年6月期上半期に公開した SMART CMS、APPS事例

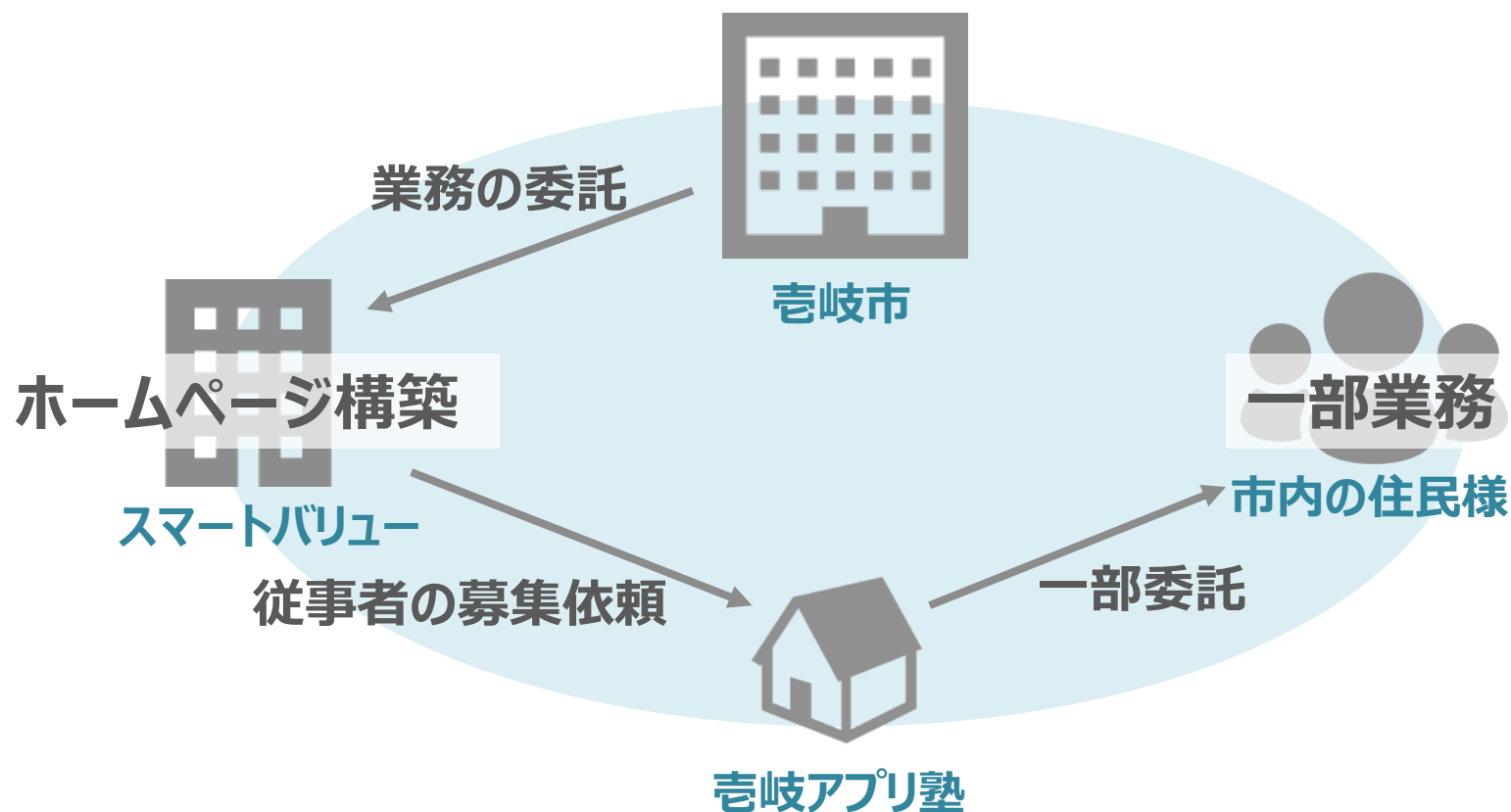


鹿児島県 西之表市様 公式ホームページ



名古屋市様 子育て支援アプリ  
「なごや子育てアプリ なごみー」

## 地域で雇用を創出する「市内住民との協働モデル」を実現 長崎県壱岐市様ホームページ構築を推進



## 4. 2017年6月期 通期業績予想

# 4-1. 2017年6月期 通期業績予想／前年対比

2017年6月期業績予想 売上高 **7,061**百万円 営業利益 **293**百万円

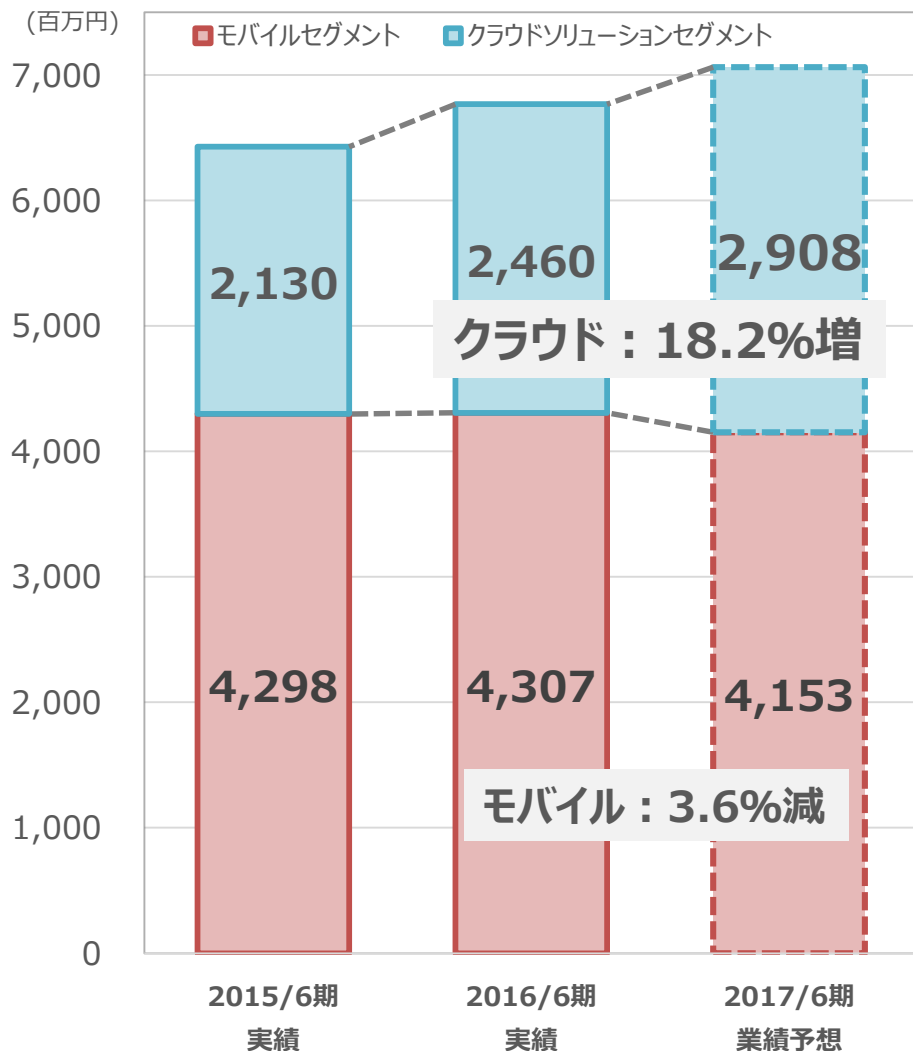
(百万円)

	2015年6月期 通期実績	2016年6月期 通期実績	2017年6月期 通期業績予想	対前年比
<b>売上高</b>	<b>6,429</b>	<b>6,768</b>	<b>7,061</b>	<b>104.3%</b>
クラウドソリューションセグメント	2,130	2,460	2,908	118.2%
モバイルセグメント	4,298	4,307	4,153	96.4%
<b>営業利益</b>	<b>180</b>	<b>257</b>	<b>293</b>	<b>113.9%</b>
クラウドソリューションセグメント	231	277	392	141.3%
モバイルセグメント	315	334	301	90.2%
<b>営業利益率</b>	<b>2.8%</b>	<b>3.8%</b>	<b>4.2%</b>	<b>109.2%</b>
クラウドソリューションセグメント	10.9%	11.3%	13.5%	119.5%
モバイルセグメント	7.3%	7.8%	7.3%	93.6%
<b>経常利益</b>	<b>209</b>	<b>275</b>	<b>290</b>	<b>105.4%</b>
<b>当期純利益</b>	<b>126</b>	<b>165</b>	<b>176</b>	<b>107.0%</b>

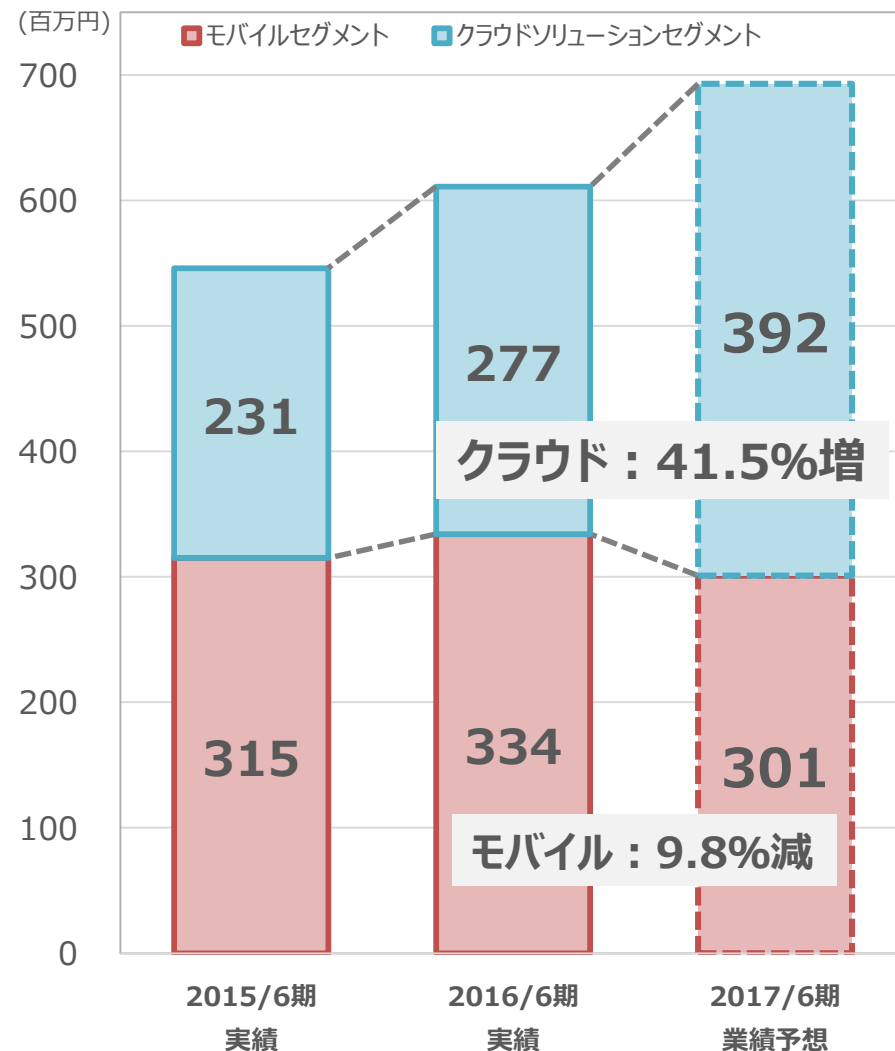


# 4-2. 2017年6月期 セグメント別売上高・利益予想／前年対比

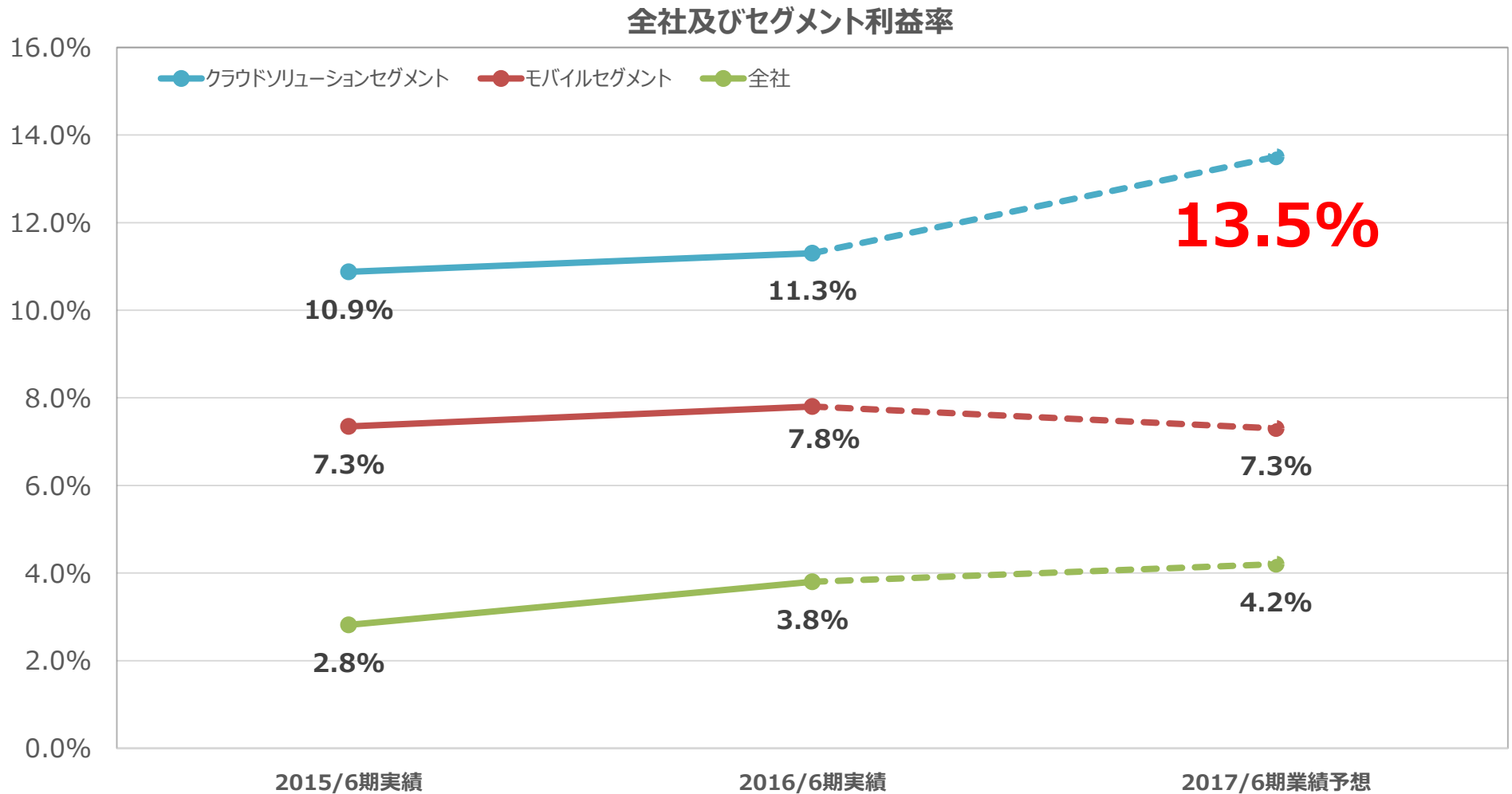
## セグメント別売上高



## セグメント利益



# 4-3. 2017年6月期 全社及びセグメント利益率予想



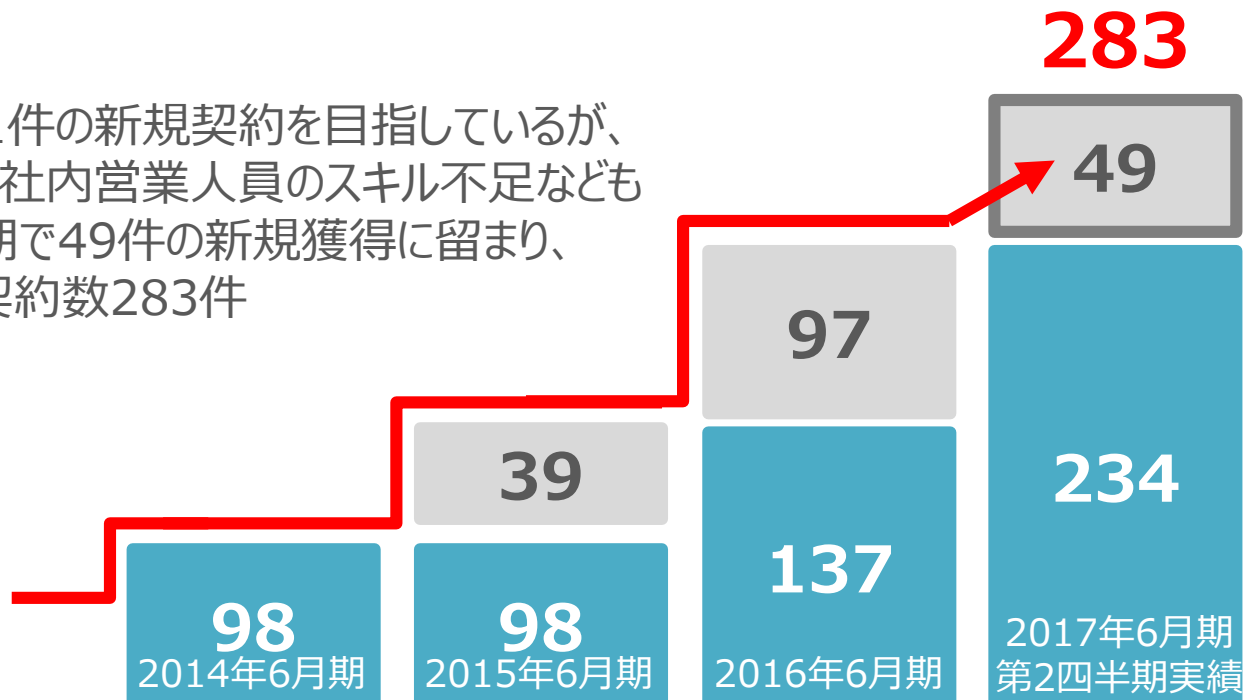
## 4-4. KPI

※地域情報クラウドSMART L-Gov主要4サービス  
(CMS/OPENDATA/APPS/ALERT) 導入数

### 地域情報クラウドの主要4サービス契約数

	2014年 6月期	2015年 6月期	2016年 6月期	2017年6月期 第2四半期実績
フロー新規契約数	98	39	97	49
ストック累計契約数	(過去累計) 98	98	137	234

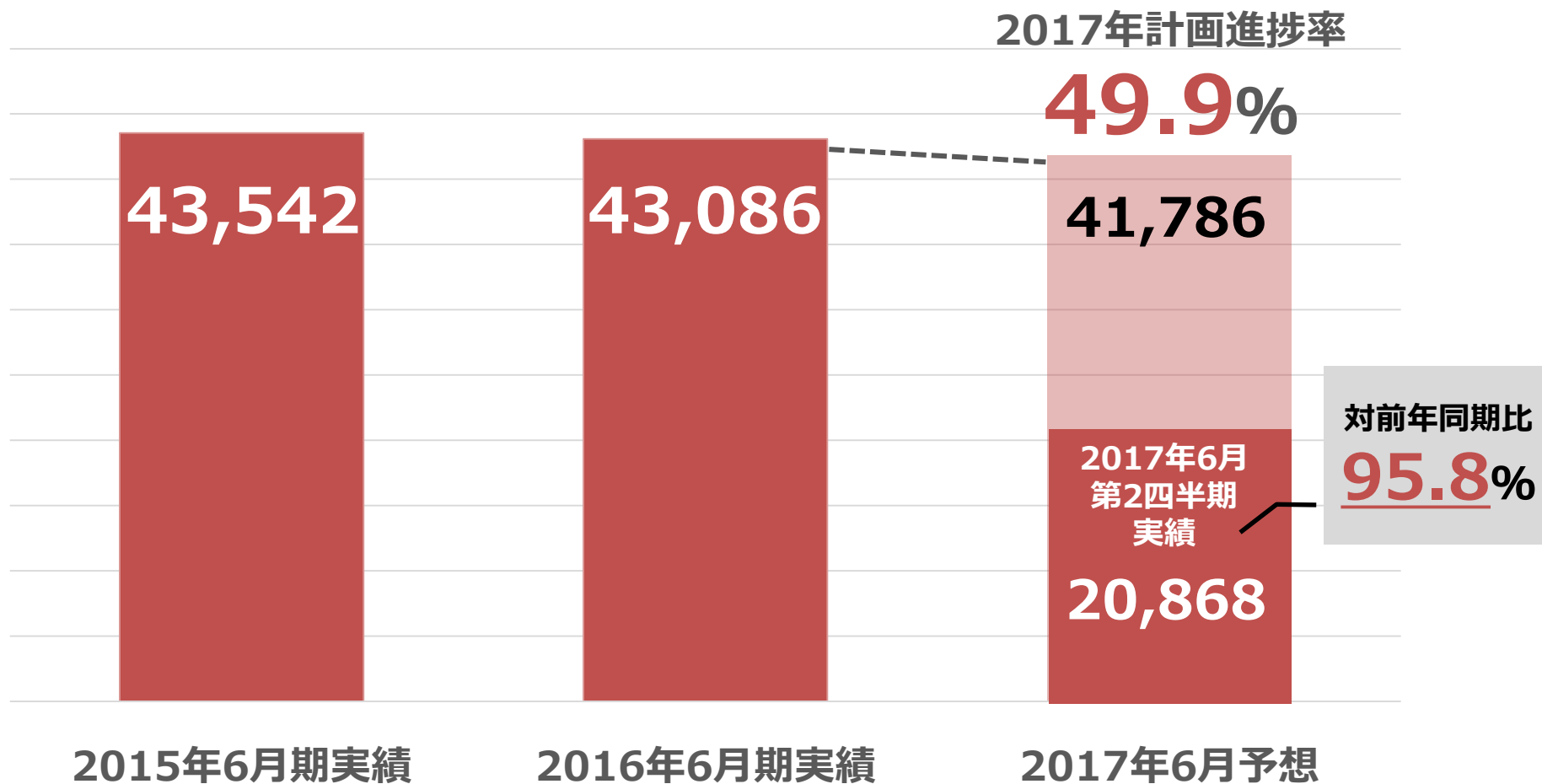
今年度131件の新規契約を目指しているが、  
競争激化、社内営業人員のスキル不足なども  
あり、上半期で49件の新規獲得に留まり、  
現在累計契約数283件



## 4-5. KPI

# 市況が厳しさを増す中、販売台数は予想通りに進捗

### モバイル端末販売台数



## 5. 中長期戦略

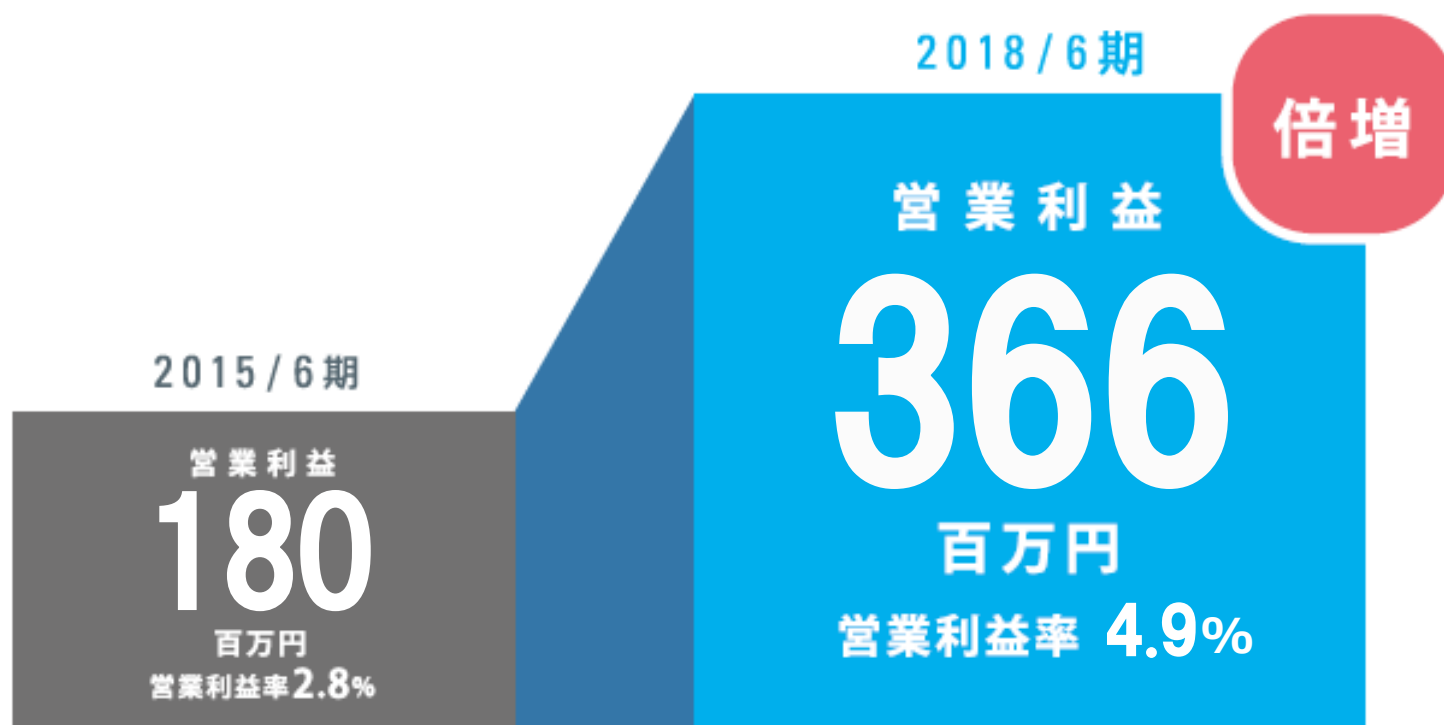
# 5-1. 2015-2018経営目標

中期3カ年の方針

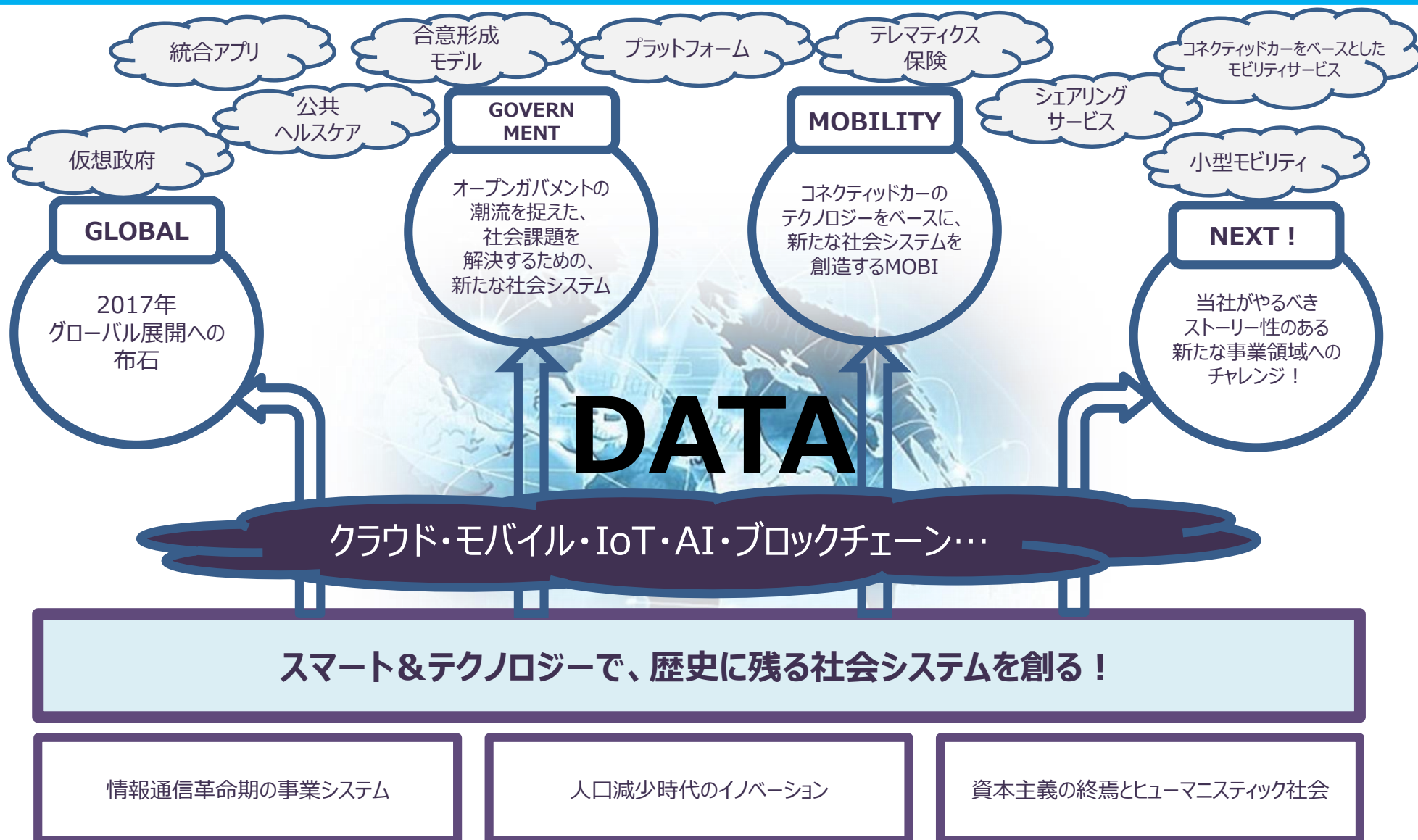
## 「強靱! 2015-2018」

強い足腰で、負荷に立ち向かえる強さ。強い足腰になりえる仕組みの整備。

すべてに共通する本質的な優しさとしなやかさ。



## 5-2. 中長期事業イメージ



## 5-3. 2017年6月期 株主還元

### 利益配分に関する基本方針

将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

### 2016/6期 期末配当金

	2016年6月期	2017年6月期 (予想)
1株当たり配当額	12.5円	12.5円



## 6. 補足資料

## 6-1. 補足資料（会社概要）

会社名	株式会社スマートバリュー（英文 Smartvalue Co.Ltd.）
上場市場	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード） 証券コード 9417
設立	1947年（昭和22年）6月 ※創業1928年
資本金	250,570,800円
代表者	代表取締役会長 渋谷 一正 代表取締役社長 渋谷 順
従業員数	257名（2016年12月31日現在）
本社	大阪市西区靱本町二丁目3番2号 なにわ筋本町MIDビル4階
事業所	東京事業所（東京都港区）、名古屋オフィス（名古屋市中村区） おおさかiDC（大阪市浪速区）、ドコモショップ6店舗（大阪府下）
事業内容	クラウドソリューション事業・モバイル事業

**社会の公器**として、**永続する事業体**となる。

常に長期的視点を持ち、社会に価値を提供し続けること、お役立ちできることを職分とする。

- 当資料に掲載されている業績予想などは、資料作成時点における弊社の判断に基いており、その情報の正確性を保証するものではありません。
- さまざまな要因により、当資料記載の業績予想とは異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料の一切の権利は当社に属しており、方法・目的を問わず、無断で複製・転載を行わないようお願い申し上げます。



[IRに関するお問い合わせ先]  
株式会社スマートバリュー  
経営企画Division 財務企画グループ  
Tel : 06-6448-1711  
E-mail : ir-ml@g.smartvalue.ad.jp